

東京都住宅供給公社 第120回評議員会議事録

1 開催日時

令和元年7月10日（水）午後2時から午後3時35分まで

2 開催場所 京王プラザホテル47階あおぞら 東京都新宿区西新宿2-2-1

3 出席者

(1) 評議員総数 12名

(2) 出席評議員 12名

評議員 おじま 紘平	評議員 山田 ひろし	評議員 菅原 直志
評議員 中山 信行	評議員 小松 大祐	評議員 池川 友一
評議員 石田 大介	評議員 加藤 英夫	評議員 齋藤 明
評議員 佐々木 宏	評議員 千葉 茂寛	評議員 野口 宏幸

(3) 出席した役員数 6名

理事長 中井 敬三	理事 細渕 順一	理事 永島 恵子
理事 千葉 裕	理事 久保田 浩二	監事 廣瀬 秀樹

(4) その他の出席者 12名

公社住宅事業部長、ストック活用推進担当部長、少子高齢対策部長、住宅計画部長、住宅営繕部長、営繕・工事監理担当部長、住宅営繕部担当部長、公営住宅管理部長、窓口運営部長、総務部長、総務部担当部長

4 議長

評議員 佐々木 宏

5 議題

第1 平成30年度業務報告

第2 平成30年度決算

6 議事の経過

- (1) 事務局より、評議員総数12名全員が出席しており、評議員会規程第七条第三項により本会が成立していることを報告した。
- (2) 中井理事長の挨拶の後、佐々木議長が議事録署名人の選出方法を諮り、議長一任の声を受けたため、菅原評議員及び野口評議員を議事録署名人とすることを諮り、了承を得た。
- (3) 佐々木議長は、議題第1及び議題第2について一括して公社から説明を受け、その後意見を受けることを評議員に確認し、細渕理事が議題第1及び議題第2について説明した。

佐々木議長が意見等の有無を確認したところ、評議員から主に以下の意見等があった。

- ・ 経営改革プランやアクションプランといった中期計画に係る実績、進捗を積極的に発信し、公社の活動に対する理解がさらに進むよう取り組んでいただきたい。
- ・ 新婚世帯等の入居支援について、結婚情報誌やウェブサイト、ターゲット広告の活用など必要な人に情報が伝わるよう努められたい。
- ・ 公社は福祉、健康、環境などSDGsと親和性がある事業を多く行っているのだから、そのような視点を踏まえて経営計画を考えていただきたい。
- ・ 都営住宅の浴室設備について、都は都負担で整備する方向で検討を進めているが、公社住宅等での実績は、都営住宅で取り組む上で大変参考になる。都が居住者負担の見直しを行う場合には積極的に情報提供してほしい。
- ・ 工事請負契約について、請求のための書類の簡素化など事務改善を検討していただきたい。
- ・ 窓口センターの接遇向上のために、すべての来所者へのアンケート配布や電話対応の録音など、全員から声を聞く仕組みを検討していただきたい。
- ・ 都営住宅の駐車場について、条件の緩和も含めて地域開放のあり方を都と検討してほしい。また、駐車場料金の請求でヒューマンエラーが発生しないよう、再発防止策を取っていただきたい。
- ・ 公社住宅の建替えにおいて、居住者が同じ区内に住み続けられるよう、家賃負担軽減措置の拡充や都営住宅の住み替え枠の確保等について取り組んでいただきたい。

以上により、第120回東京都住宅供給公社評議員会の議事を全て終了し、佐々木議長は午後3時35分に閉会を宣言した。

令和元年8月16日

議 長 評議員 佐々木 宏 ⑩

議事録署名人 評議員 菅原直志 ⑩

議事録署名人 評議員 野口宏幸 ⑩